

仙台山鉾装飾品・七福大太鼓の修繕状況について

仙台・青葉まつり協賛会では令和4年度から文化庁の補助事業「地域文化財総合活用推進事業」として山鉾や甲冑等の修繕を行っています。令和5年度は傷みの目立っていた七福大太鼓山鉾の大太鼓（胴直径2.2m）の皮の張り替えを実施しています。その進捗状況を随時、ご紹介します。

■令和5年7月5日 太鼓引渡し 仙台から東京に運搬

■令和5年8月7日～9月20日 皮の外し作業

作業開始。皮は中心部分が薄くなり、所々に生じた亀裂や小穴にはパッチをあてて補修をしていました。
なお、大太鼓の重量は350kgもあります。



鉚を1本1本抜いていきます。鉚は両面で 250 本ありました。



鉚を外し終わり、皮を外します



胴部の飾り金具等も取り外し、無事、最初の作業が完了しました。



■令和5年9月28日 「寸法取り」から仮掛け皮製作開始

■令和5年10月7日 「仮掛け」作業開始

8月に入荷した大型一枚物の皮をなめした後に打面寸法に合わせ切断、打面寸法に合わせ皮を成形する「仮掛け」に入ります。この作業は11月末～12月初旬まで続きます。なお、皮の出来上がり状態は乾いてみないと分からないため、皮は4枚～6枚程度製作します。



■令和5年11月12日 太鼓台修繕中

予想以上に太鼓台の木地が痛んでいたため、腐朽部材を切り取り、新たな材をはめ込むこととしました。



左上：修繕前、右上：腐朽状況、左下：塗装を剥がした状況、右下：カンナをかけた後の状況

■令和 5 年 11 月 27 日 太鼓台木部修繕完了

腐朽部を除去し新たな部材をはめ込む等、木部の修繕が完了しました。



黄色のマーク部分が補修部材、白い部分は木部用パテを充填補修した箇所です（4 枚とも）。